



ひめじ市民法律事務所

市民法律だより

暑中御見舞い申し上げます。

姫路の初夏の風物詩といえば「ゆかた祭り」。今年は天気恵まれました。

魚町界限は、浴衣と団扇でいなせに決めた男女や親子連れでござった返し、通りが夏色に染まりました。ちょっと往年の賑わいを取り戻してきた感じで、嬉しいですね。

駅北は、ホテルモントレが今春にオープンし、お城を望む2階の展望デッキから、西は山陽、東はピオレからモントレ、そしてアースシネマズまでが回廊で一つにつながりました。駅南の広場の整備も進み、歩行者中心の開放感が出てきました。外人さんが街の人に交じってビール片手に駅ソバをすすっています。ちょっとしたことが、街を明るく元気にしてくれます。

このお便りが皆様に届く頃、姫路ではクマゼミがシュワシュワ鳴き始め、盛夏の到来を告げてくれるでしょう。東京では今でもアブラゼミの「Ziiiー！」が盛んだそうです。札幌ではなんと最初に鳴くのはミンミンゼミだと聞きました。

今年の夏、西日本は「平年並みの暑さ」だそうです。「並み」だからこそ味わえる近場の夏を楽しみつつ、元気にお過ごし下さい。

事務所はこの夏も、皆様の期待にしっかりと応えて参ります。

仕事は朝の涼しいうちから。スマートに、柔らかく、楽しく。

皆様のご健康とご多幸を祈念して夏のご挨拶と致します。

2018年 盛夏
所 員 一 同

発行責任者

〒670-0952 姫路市南条10-4

ひめじ市民法律事務所

所長 弁護士 平 田 元 秀

弁護士 吉 谷 健 一

電話 079-282-0430

FAX 079-282-0433

<http://himejishimin.com/>

事務所営業時間

月～金 午前9時30分

～午後6時

土曜日 午前中 予約相談あり

コンテンツ

暑中見舞い	1
弁護士の小話	2
弁護士のよもやま話	3
うっかり、鉄道旅に出かけよう!!	4
有志によるマラソン	4
事務所員アンケート	5
お花見	5
行ってきたよこんなお店	6
編集後記&休みのお知らせ	6

『バテレンの世紀』と『潜伏キリシタン』の世界

平田 元秀



今年の初夏は、夜の寝枕に、渡辺京二「バテレンの世紀」を少しずつ読み進めて過ごしておりましたところ、6月30日、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」（長崎、熊本両県）が、世界文化遺産に登録されたとの報に接しました。登録遺産群の中で私でも分かるのは、「大浦天主堂」と「原城跡」だけです。大浦天主堂といえば、長崎に行けばまず訪れる観光名所ですし、原城跡といえば、天草四郎の島原の乱の籠城場所ですね。

ただ、今回ユネスコは、「潜伏キリシタン」に焦点を絞り、島原の乱（1637-8年）の後から始め、230年後、大浦天主堂（1865年）で、信徒が「発見」された後ごろまでの土俗信者の宗教遺物に光をあてて、文化遺産と認定しています。

日本史で、禁教の歴史を見るとときには、「島原の乱まで」に光が当たります。徳川家康が命じ、金地院崇伝が起草した「バテレン追放の文」（1613年）によって、キリスト教は「邪宗門」となりました。教会の破壊や、高山右近の国外追放が行われます。1616年に鎖国令が出ると、「下々百姓に至るまで」、信者の搜索・逮捕、さらには拷問による強制改宗へと禁教レベルが引き上げられました。島原の乱以降ともなると、改宗するまでは拷問される徹底したキリシタン暗黒の時代だったはずですが。

ユネスコは、それでも信仰を守り続けた天草などに根付く凄まじい精神文化を世界遺産と認定したことになります。ここで喚起されるのは、今年2月に90歳で亡

くなられた石牟礼道子さんが能の新作として書き上げた「沖宮（おきのみや）」の舞台が、ちょうど島原の乱が終わった後の天草（熊本県）であることです（今年10月6日に、熊本の能楽堂で追悼公演の形式で演じられます）。

私は、姫路の人間なので、黒田官兵衛孝高（よしたか）と、高山右近の物語にどうしても惹かれてしまいます。高山右近の場合には父が日本人修道士ロレンソに惚れて入信したのを受けて、10歳の時に洗礼を受けたそうです。本能寺の変（1582年）の後、秀吉の幕下に入った右近は、軍師官兵衛と出会います。官兵衛は、播磨の地で室津・小豆島の小西行長に影響され、明石城の高山右近に勧められて、1585年頃に洗礼を受けます。ところが、秀吉は1587年にバテレン追放令を出します。「バテレン信仰は自由だ。しかし大名がバテレンでよいかは、公儀の意思次第だ」として、右近は棄教を求められます。ところが、右近は、あっさり、領地と財産をすべて捨てて信仰を守る方を選びました。世の中はあっと驚きました。

官兵衛は、秀吉の追放令の年に大友宗麟の息子義統を入信させました。その後も、1590年の小田原攻めで在陣していた際、天正遣欧少年使節派遣を実施したヴァリニャーノのために秀吉との面会の取りなしを行おうとし、秀吉の不興を買いました。1604年の死亡時も死骸を博多の神父の所へ持ち運ぶよう遺言しています。

大航海時代の武装商人と宣教師の行為は、客観的には異教徒に対する軍事的・経済的・文化的侵略の文脈を払拭できません。しかし、戦国を生きる武将や農民に現世的主従関係や損得関係を超越して深い共感を生み出させた、説法者の、人となりや振る舞いとはどれほどのものか。

この夏は、宗教と民俗と救済のことを考えながら、「バテレンの世紀」をじっくり味わいたいと思います。



弁護士のよもやま話

弁護士 吉 谷 健 一

「将棋交流会」

最近、近隣の弁護士数名で1、2か月に1度集まって将棋を指しています。

いわば同好会のようなものですが、今年の3月、私たちの同好会と明石市役所の将棋部との交流会が行われました。

きっかけは、昨年末に開かれた私の大学将棋部のOB会です。明石市役所に勤めている後輩のTさんがいて、明石出身である私は地元話などしていたのですが、その中で、市役所でも将棋部があるという話が出てきたのです。

そこで、私も同好会の話をしてみたところ、では交流の場をとという話になったのです。

Tさんの話によると、市役所将棋部では、女流棋士の長谷川優貴女流二段を定期的にお招きしてご指導いただいているとのこと。よければお招きしましょうかと提案いただき、二つ返事で快諾することになりました。

恐るべし市役所将棋部。

明石市役所将棋部は、愛称を「イレブズ」といい、平成11年入庁の方々を中心に2012年に結成、部員8名で毎週1回活動しているとのこと。

規模や活動頻度において圧倒されていますが、気にしないでおきましょう。

長谷川女流は、明石市出身。以前にこのコーナーでも登場いただいたことがあり、姫路の人間将棋で対局されていた女流の方です。

高校生のうちにプロとなり、すぐにタイトル棋戦で連勝してタイトル挑戦者となり、明石の某高校でメディア取材を受けていたのを見た記憶があります。

午前中は、長谷川女流との指導対局。

指導対局では、手合い（ハンデ）をどうしてもらうか、人それぞれです。せっかくプロと対局できるので平手で挑む人もいますし、分相応に駒を落としてもらう人もいます。

日和見主義の私は、隣のN川先生に合わせて、二枚落ちでお願いすることにしました。

結果は負けてしまいましたが、感想戦で勉強させていただきました。

昼食を挟んで、3人1組チームでの団体戦です。将棋は個人プレーですが、団体戦には団体戦の面白さがあります。

私は何と長谷川女流と一緒にチームに。

ハンデ制とはいえ心強い限りで、実際のところ長谷川女流は2戦連勝しました。

ということは、私を含む残り2人のうち1人でも勝てば、チームの勝利なのですが、チームは連敗したということで、私の結果はお察しください。

長谷川女流はここでお帰りになりましたが、最後はペア将棋です。

ペア将棋とは、パートナーと2人1組で交互に1手ずつ指して対局する将棋です。

対局中に会話はできないので、パートナーと読みが合わないと思わぬ落とし穴があったりします。

従って、2人の個々の実力はもちろんですが、2人の棋風の相性などもモノを言います。

私は、あまり融通の利かない振り飛車党なので、できればパートナーも振り飛車党であってほしいと願うのですが、この日のパートナーは振り飛車党（しかも優秀な）ということで、のびのび指すことができました。

夕方は、駅前の居酒屋にて懇親会です。

それぞれの活動の話から、最近のプロ棋界の話、今話題のAIの話まで、色々な話に花が咲きました。

将棋ファンも、特定のプロの追っかけのような人や、観るのが好きな人から自分で指すのが一番という人まで、スタンスは様々ですが、多種多様な人々が集ってゆるく楽しむことができるのが、このような同好会の持ち味だと思います。

仕事を頑張りながら、そうした繋がりを広げていければと思う次第です。

～うっかり、鉄道旅に出かけよう!!～



何気なく本屋の棚を眺めていた時、偶然平積みされた、能町みね子の『うっかり鉄道』に目が留まった。著者と編集者、女性二人が全国の鉄道を気の向くままに旅（取材）したエッセイなのだが、その切り口が何ともゆるい！ゆるすぎる!!

能町氏は関東の鉄道路線図を何も見なくてもさっと書いてしまう。完全に鉄道マニアかと思いきや、あくまでも“他称”であって、決して“自称”ではないらしい。

鉄道本と言えば、車両やメカの蘊蓄を語りつくす（車両鉄）とか、ひたすら美しい鉄道と風景のコラボ写真を撮る（撮り鉄）とか、でなければ、電車に乗って各地の名所旧跡やグルメをレポートする（乗り鉄の一種？）とか、いくつか思い浮かぶが、この本は少し勝手が違う。“能町的テツのツボ”（個人的楽しみポイント）があって、ベタな鉄道ネタ、車両や最新技術には目もくれず、突っ込みどころ満載。

著者の一番好きな駅、JR鶴見線の「国道駅」では高架下の廃墟感漂う商店街の佇まいに癒しを感じ、ある時は、縦書きひらがな表記の珉瑯（ホーロー）看板を見るためだけに北海道の駅を巡り（「ぴっぷ」、「びび」、「わっさむ」など音感が楽しい）、またある時（平成8年8月8日）には、八のつく駅を八か所回り、ゾロ目切符の収集に情熱を燃やす。

私のお気に入り、「あぶない！江ノ電」では、線路沿いの危ないスポットをひたすら目指す。線

路の反対側に家があり、個人用踏切を歩いて渡らないと家に帰れない。場合によっては30メートルくらい歩かないと家に帰れない。たしかに危険すぎる!!（でも肝心の電車にも駅にも観光名所にも何も言及してない!!）

駅周辺を散策していて、うっかり電車に乗り遅れ、ノリで次の駅まで歩いたり、取材なのにおしゃれカフェでのんびりしすぎたり、鉄道と関係なく鹿児島空港で大盛り上がりしたりと、流れる空気感がゆるくて、そこが何とも言えず魅力的。ちょっとした視点の切り替えで、身近な路線も“かわいいポイント”に変わるような気がしてくる。

工場にもベタな鉄道ネタにも興味津々の私としては、昼間は富士山、夜は工場夜景を見ることができる（夜景電車もある）岳南鉄道や、日本で唯一、ループとスイッチバック両方がある肥薩線には、是非一度乗ってみたい。

いろんな鉄道に乗って、ゆる～く、うっかり旅してみたいくなる、路線マップなどのイラストも楽しい、そんな一冊だ。

因みに、春に吉野を旅行した時、ホームに停車していた「青のシンフォニー」を発見してテンションが上がり、写真を撮るのに夢中になって、危うくスーツケースを駅のロッカーに置き忘れるところだった。「ミーハーはこれだから…」と夫が呆れたのは言うまでもない。 【美】

有志によるマラソン大会

4月15日、宍粟市さつきマラソンに参加して来ました。雨の予報で心配していましたが、始まる頃には晴れてきて、少し暑いくらいになりました。

今回は弁護士2名、事務局2名の4人での参加です。私は今回で3回目の参加になります。ずっと5キロでの参加です。私以外の皆さんは普段から運動を日課とされているので問題ありませんが、運動不足の私にとっては一大事。特に今年は、子供二人の受験・卒業・入学が重なり、かなりバタバタしていたせい（言い訳？）で全く練習が出来ていないままの出場となりました。

とりあえず、完走をめざそう…と心に決めスタートしました。コースの往路はなだらかな上り坂。私はスタートしてすぐに息があがり始めました。足も重い！一緒にスタートしたMさんは、はるか先の方へ。心が折れそうになりながらも沿道の応援の方の「がんばれ～」の暖かい声に元気を頂き、

少しスピードアップ。なんとか折り返し地点までたどり着くも、心の中では「ま

だ半分しか走っていないの…」という絶望感。復路は下りのせいもあってか、少し楽になってきましたが気分を変えるために給水。息が上がっているためにほとんど飲むことが出来ませんでした。少し元気になりゴールを目指しました。ゴール手前には100メートルほどの直線があるので、少し前を走っておられた女性の方（私よりもかなり年齢が上と思われる）を頑張っって抜き、もう少しでゴール！と思った瞬間、手前で抜き返されるというゴールとなりました。次回はもう少し練習して参加しようと思います。（反省）

【川】



事務所員アンケート

(事務所員アンケートのお題) 私のストレス発散法&おすすめグッズ

私の場合、最も効果的なのは晴れの日々の早朝ランニングです。6~7kmほどハッハタッタと走れば、ストレスはほぼ雲散霧消し、体調も整います。夏ならラジオ体操が始まる前に走り終わる位がベスト。色々あるなかでもランニングはグッズが一番お金がかからないスポーツだと思うのですが、続けているとシューズだけはこだわって選ぶようになると思います。私の愛用シリーズは、ちょっと厚底で幅広なものですが、膝に優しくて気に入っています。

【平田】

この春に高校に進学した娘が陸上部に入り、朝練があるので、平日は毎朝4時起きの日々を生活している今日この頃。寝不足と戦う日々の中で唯一のストレスを緩和出来る時間は、今年19歳になった愛猫と一緒に過ごす時間です。おそらく一日のほとんどを寝て過ごしていると思われる彼女ですが、朝のおはようや帰ってきた時のおかえりの挨拶は欠かさず家族全員にしてくれます。家族を癒やしてくれる本当に大切な存在です。

【川】

ストレス発散方法といって、特に決めていることがあ
るわけではないのですが、強いて言えば、食べ物に少し
お金を掛けてみることでしょ。うか。

ちょっとしたおかずの一品を買ってみるとか、何かデザートを買ってみるとか。

最近、駅前の百貨店に北海道物産展が来たというのを見かけたので、チーズケーキを買ってみました。ポイントは「ちょっと贅沢」であって、ほどほどにしないと激しく後悔が押し寄せてきそうなので、注意が必要です。

【吉谷】

私のストレス発散法は、【岩盤浴】に行くことです。そんな暑いところで余計にイライラすると思われるかもしれませんが、その暑さがイヤなこと余計なことを忘れさせてくれます。どれだけ汗をかけるかなんてやってみたりもして(*^_^*)。

終わった後は爽快すっきり！

グッズは、お菓子に入っているプチプチ。これの一つ一つプチプチ潰しては、逆にイラッとするので私は豪快に両手で掴んで一気にプチプチッ。すっきりです。

【ひ】

約4年前に始めたピラティス。最近では、パーソナルトレーニングにも通い出して、重力と闘っています。トレーニングの後の爽快感と体の軽さが魅力です。

そこで、自宅でも自重トレーニングをやることにしたのですが、毎日やらないと気が済まない性格が災いして、ストレス発散のストレスがあったり…

日々の努力が自信に繋がるとの言葉を信じて、がんばろうと。

【溝】

ストレスの元は常にあるので、とにかく一人でど
ん外に出かけて気分転換。

書店で本をリサーチする。好きな本を読み耽る。少し遠くても、時間を見つけて好きな展覧会に出かける。お芝居を観て、思いっきり笑って泣く。興味のあることについてガンガン勉強する。

体幹を鍛えるためジムで身体を動かす。脳と腸は相関しているの、腸内環境を整えて心を穏やかに保つ!!

【美】

事務所行事(お花見)

お花見の日程は、毎年事務所で開花予想して、予定を入れているのですが、今年は、各地で、桜の開花、満開が異例の早さで進み、予定日通りに行くと思っかくの桜が散ってしまうので急遽予定を変更し、繰り上げて4月5日に恒例になっている城見台でお花見をしました。

変更したおかげで、それはそれは見事な桜を觀賞することができました(^^)。

お昼のお弁当も、いつもながら春らしくとても美味しかったです。

お花見の後は、動物園を散策、今回私の一番のお気に入り



ルマジロ。あっち行きこっち行き、ちっともじっとしちゃうない。何をそんなに急いでいるの？まるで自分を見ているようで親近感がわきました。

きれいな桜に、美味しいごはん、かわいい動物、とても満喫したお花見でした。

【ひ】

～行ってきたよ こんなお店～

今回、ご紹介するのは、姫路駅から南へ10分ほど行ったところにある「トラットリアピッコラシチリア」というシチリア料理のお店です。シチリア料理って、どんな料理？と思われる人も多いのではないかと思います。シチリア料理は野菜や魚介類を中心にした素材を活かすシンプルな南イタリア料理のことをいいます。店内には、陽気な音楽が流れていて、白い壁に地中海の雰囲気漂う装飾品が飾ってあり、家庭的な雰囲気の中にも、異国ムードも感じることができます。

お昼のメニューは、「海の Pasta」か「山の Pasta」を選んで注文します。まずは、本日のスープ。具たくさんで、食べるスープといった感じです。続いて、前菜の盛り合わせ。この日は、アイナメの南蛮漬け、茄子のカポナータ、カリフラワーのコロッケ、トリッパというハチノスのサラダがワンプレートに盛られて出て来ました。少しずついろんな種類の前菜がいただけるのも魅力です。

本日の海の Pasta は、ホタルイカとズッキーニの Pasta。少し太めの Pasta で、素材の味が際立っていました。

山の Pasta は、パッケリという手打ちパス



タに牛肉のラグーソースがかかっていました。

今回は、ランチメニューのほかに、自家製のソーセージを注文しました。見た目のインパクトもさることながら、スパイスの効いた味に感動。お酒が進みそうな一品です。

グループで賑やかに頂くもよし、一人カウンターでマスターとお話しながら、お昼ご飯を頂くもよし。そんな感じで気兼ねなく訪れることのできるお店でした。今度は、是非、夜にも行ってみたいと思います。

(溝)



編集後記

毎日暑い日が続いてますね。予報では、【平年並みの暑さ】とされていますが、私の体感では毎年上がり今年も猛暑となっています。

今回は、所員にストレス発散の仕方を聞いてみました。みなさん参考にしてイライラを吹き飛ばしこの暑さを乗り切ってください。

お身体ご自愛下さいませように。

(ひ)

〈事務所お休みのお知らせ〉

7月30日(月)～7月31日(火):事務所行事

8月11日(土)～8月15日(水):お盆休み

のため、お休みとさせていただきます。